

## 2012 年度 日本学生支援機構大学院奨学金

## 「特に優れた業績による返還免除」募集要項

大学院第一種奨学金の貸与を受けた学生で、特に優れた業績をあげた者として日本学生支援機構（以下、「機構」）が認定した場合に、奨学金の全部または一部の返還が免除される制度です。

希望される方は、この要項を熟読のうえ、申請してください。

I. 制度概要

## (1) 根拠規程

大学院において第一種学資金の貸与を受けた学生であって、在学中に特に優れた業績をあげた者として日本学生支援機構が認定した者には、貸与期間終了の時ににおいて、その学資金の全部又は一部の返還を免除することができる。 注釈) 学資金 = 奨学金 (独立行政法人日本学生支援機構法主旨抜粋)

## (2) 返還免除者数

機構の定めでは、各年度において全国で貸与期間が終了する者の 100 分の 30 以下としています。

大学毎の免除者数は機構が決定します。

## (3) 返還免除額

全額免除もしくは半額免除

(参考) 2011 年度の本学の返還免除採用者数実績

|               |                                |
|---------------|--------------------------------|
| 博士課程前期課程・修士課程 | : 93 名 (うち全額免除 31 名、半額免除 62 名) |
| 専門職学位課程       | : 26 名 (うち全額免除 9 名、半額免除 17 名)  |
| 博士課程後期課程      | : 12 名 (うち全額免除 4 名、半額免除 8 名)   |

II. 申請資格

2012 年度中 (2013 年 3 月まで) に貸与が終了し、下記の条件を満たす者を対象とします。

## (1) 博士課程前期課程・修士課程、専門職学位課程

① 2013 年 3 月に課程修了見込みの者 (早期修了を含む)

② 留学により 2013 年度に標準修業年限を超えて在学する者 (所定用紙の提出必要)

※博士課程後期課程に進学予定者も対象となります。(後期課程修了時ではありません)

## (2) 博士課程後期課程

課程修了を申請資格とはしません。(満期退学者、中途退学者も対象となります。)

## (3) 一貫制博士課程

2 回生は、博士課程前期課程・修士課程の申請資格に準ずる。

3～5 回生は、博士課程後期課程の申請資格に準ずる。

※出願時に 2013 年 3 月早期修了予定者および 2013 年度に学術振興会特別研究員の採用が見込まれる者で、返還免除を希望する場合は必ず今回の募集の期間内に申請してください。

※下記に該当する場合は、条件を満たす場合でも推薦できません。

① 大学院在学中に立命館大学学生懲戒規程により懲戒をうけたとき。

② 申請書類に虚偽の記載があったとき。

### Ⅲ. 返還免除の認定・返還免除候補者の選考・決定

#### (1) 返還免除者の決定

返還免除を申請した者の中から、大学が選考を行い「返還免除候補者」として機構へ推薦する者を決定します。大学から推薦された者について機構が「特に優れた業績による返還免除者」の認定を行います。またあわせて機構が全額免除者および半額免除者を認定します。

#### (2) 返還免除候補者の選考方法

返還免除候補者は、申請者が所属する各研究科委員会および学生生活会議において選考し、学長が決定します。

選考は以下の項目について、書類選考により行います。

- ① 学位論文（またはこれにかわる特定の課題）
- ② 授業科目の成績（※法務研究科はこの項目のみで選考します）
- ③ 関連した研究内容の学会での発表、学術雑誌への掲載または表彰等の研究活動業績
- ④ その他各研究科委員会が設定する評価項目

博士課程後期課程は、必要に応じて第2次選考（面接）をおこないます。第2次選考（面接）を実施する場合には、対象者に書面で通知します。面接にあたって別途書面の提出を求めることがあります。詳細は通知で案内します。

通知時期：2月下旬 ～ 3月中旬

面接時期：3月中旬（予定）

### Ⅳ. 申請書類

以下の書類を それぞれ2部（正本1部・コピー1部） 提出してください。

※以下熟読の上、申請手続きを行ってください。提出期限を過ぎてからの申請は一切受け付けません。

また、一旦提出していただいた申請書類は返却いたしません。

#### ① 業績優秀者返還免除申請書（様式1-1【両面】）

##### ○ 全体の注意点

- ・黒のボールペンで丁寧に記入すること。用紙の貼付、別紙の添付は認められません。（切貼した部分のコピーをとり、それを原本として使用することは可能です。）※本人印はスタンプ印不可
- ・「現住所」及び「卒業後の連絡先」は、返還誓約書の記載内容と同一とします。結果通知はこの「卒業後の連絡先」宛に郵送いたします。なお「同上」などの記載の省略はできません。

##### ○ 大学院における研究課題等（様式1-1【表】）

修士論文（または課題研究論文）の研究テーマ、もしくはそれに代わる特定の課題テーマを書き、その概要を記入してください。

【法務研究科のみ】 論文や研究に代わる課程での課題・目標とそれに関する計画や課題の概要等

○ 教育研究活動等の業績（様式 1-1 【表】）

専攻する研究活動に関わって実績のあるものに限り○印をつけてください。

基本は以下の 3 つになると考えます。

1. 「学位論文その他の研究論文」

4. 「著書、データベースその他の著作物」

6. 「授業科目の成績」

【法務研究科のみ】 6. 「授業科目の成績」

○ 特に優れた業績の要旨（様式 1-1 【裏】）

学位論文（または課題研究論文）の内容を記入したうえで、学会発表や学会誌等への掲載状況を記入してください。

【法務研究科のみ】「研究課題等」で述べた計画や課題の達成度等

② 業績優秀者返還免除申請書に記載した「優れた業績」を証明する資料

例)「学会での発表」・・・学会名称、開催場所、日時、学会に参加し発表したことが分かる資料

「学会誌への掲載」・・・名称、巻、号がわかる箇所のコピー

※「日本学術振興会特別研究員」に内定している方は、その旨を記載し内定通知のコピーを添付してください。

③ 指導教員の推薦理由（様式 1-2）

本様式は、選考後に大学から、申請者の所属する研究室の担当教員に記入を依頼します。

申請時は申請者本人の奨学生番号、学籍番号、氏名、研究科名・専攻名の記入のみで結構です。

但し、事前に別紙の『2012 年度 日本学生支援機構奨学金「特に優れた業績による返還免除」推薦理由書記入について』を指導教員へお渡しして、内諾を得てください。

※応募書類提出時に提出する「出願書類チェック表」に内諾を受けた教員の氏名を記載願います。

④ 成績証明書

現在在籍している課程の証明書を、学内の証明書発行機で発行し提出してください。

⑤ 留学報告書（該当者のみ）

留学により 2013 年度に標準修業年限を超えて在学する者のみ提出が必要です。

書式をお渡ししますので、該当者は学生オフィスに申し出てください。

⑥ 学位論文またはこれにかわる特定の課題（1 部のみ：電子媒体による提出不可）

※ 経営管理研究科は「課題研究論文」となります。

※ 法務研究科は提出不要です。

※ 後期課程の方で、学位論文が期日までに提出できない場合は、後期課程での研究業績（学会発表や紀要掲載、博士論文の副論文等）を提出してください。

## V. 提出期間、提出方法、提出先

### 提出期間

理工学研究科以外：2013 年 2 月 1 日（金）～2013 年 2 月 8 日（金）17:00（除く「⑥学位論文」）

理工学研究科：2013 年 2 月 12 日（火）～2013 年 2 月 15 日（金）17:00（除く「⑥学位論文」）

（上記「理工学研究科」には、情報理工学研究科・生命科学研究科を含みます。）

※ 提出期限を過ぎてからの申請は一切受け付けません。

※ 期限内に提出できない場合は、必ず下記《問合せ先》へあらかじめご相談ください。

提出書類①～⑤を上記提出期間に提出したうえで、⑥「学位論文またはこれにかわる特定の課題」のみ  
2013 年 3 月 15 日（金）17:00 までに提出することが可能です。

### <提出方法・提出先>

以下の提出先に持参してください（窓口での提出を原則としますが、困難な場合は事前にご相談ください）。

衣笠キャンパスの研究科所属 提出先：学生オフィス（衣笠） 研心館 2 F

びわこ・くさつキャンパスの研究科所属 提出先：学生オフィス（BKC）セントラルアーク 1 F

朱雀キャンパスの研究科所属 提出先：プロフェッショナルスクール事務室（奨学金担当）

## VI. 選考結果の通知

大学が返還免除候補者を選考した結果の通知（返還免除候補者の選考結果通知）

通知発送日：2013 年 4 月 26 日（金）

対 象 者：申請者全員に書面にて通知します。

通 知 先：申請書記載の「卒業後の連絡先」住所宛

※大学が機構へ返還免除候補者として推薦する段階の通知です。

返還免除者決定通知（免除額決定通知） 通知時期：2013 年 6 月中旬以降

推薦者対象に、機構より返還免除者および免除額を決定した旨の通知があります。この通知をもって正式決定となります。

## VII. その他

（1）機関保証制度に加入して奨学金の貸与を受けていた者

返還免除において全額免除に決定した場合、保証料の返金があります。

・機構による免除認定後、後日返金についてお知らせが届きます。

※ この保証料返金業務は、（財）日本国際教育支援協会が行います。

### 《 問合せ先 》

○衣笠キャンパス・朱雀キャンパス 所属の研究科

学生オフィス（衣笠）大学院奨学金係（研心館 2 階）

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 TEL：075-465-8168 FAX：075-465-8169

○びわこ・くさつキャンパス 所属の研究科

学生オフィス（BKC）大学院奨学金係（セントラルアーク 1 階）

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1 TEL：077-561-2854 FAX：077-561-3954

### ◆指導教員等の推薦理由

(様式1-2)

[illegible]

2012 年 12 月

指導（担当）教員各位

立命館大学 学生部

2012 年度 日本学生支援機構奨学金「特に優れた業績による返還免除」  
推薦理由書記入について

下記学生につきまして、2012 年度日本学生支援機構奨学金「特に優れた業績による返還免除」の申請を希望しています。

本制度の申請にあたっては、研究指導教員等の「推薦理由」（以下「理由書」）の提出が必要となりますので、下記学生が各研究科の選考により推薦者として決定した場合には、理由書の作成をお願いいたします。（用紙につきましては、ご依頼する際にお渡しします。）

「理由書」作成のご依頼は 3 月中旬以降になり、提出期限は 4 月上旬となる見通しです。様式は A 4 用紙 1 枚（10.5 p × 30 字 × 20 行程度）で、教員の直筆による署名押印が必要です。

有資格者の最終確定が 4 月初旬となるため、上記予定を過ぎてから追加で理由書をご提出いただく場合がございます。また提出いただいた学生が対象外となることもありますので、ご了承ください。大学からの推薦結果を受け、採用の決定は日本学生支援機構が行います。

なお、出張等により、上記の期間内に理由書の記入・提出が不可能である場合は、事前のご提出等をお願いする場合があります。当該学生を通じて、もしくは直接学生オフィスまでご相談いただきますようお願いいたします。

記

申請受付者

|       |  |
|-------|--|
| 学生証番号 |  |
| 氏名    |  |

この件に関する問い合わせ先：

☐ 衣笠キャンパス・朱雀キャンパス 所属の研究科

学生オフィス（衣笠）Tel: 075-465-8168（内線 511-2368）担当：山本

☐ B K C 所属研究科

学生オフィス（B K C）Tel: 077-561-2854（内線 515-7126）担当：真島

# 日本学生支援機構大学院奨学金「特に優れた業績による返還免除」 出願書類チェック表

|                   |                                                             |  |    |  |  |  |  |  |  |  |
|-------------------|-------------------------------------------------------------|--|----|--|--|--|--|--|--|--|
| 学生証番号             |                                                             |  |    |  |  |  |  |  |  |  |
| 課<br>程<br>(○をつける) | 1. 修士・博士前期・一貫制（前期相当）<br>2. 博士・博士後期・一貫制（後期相当）<br>3. 専門職大学院課程 |  |    |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究科               | 回生                                                          |  | 氏名 |  |  |  |  |  |  |  |
| 連絡先<br>(携帯電話等)    |                                                             |  |    |  |  |  |  |  |  |  |

受付印

以下の提出書類はすべてそろっていますか。

提出物チェック○

|     |                                                                   | 提出 | 備考<br>不備/提出日等 |
|-----|-------------------------------------------------------------------|----|---------------|
| ①－１ | 業績優秀者返還免除申請書（正本） 【様式１－１】                                          |    |               |
| ①－２ | 業績優秀者返還免除申請書（コピー） 【様式１－１】                                         |    |               |
| ②－１ | 申請書に記載の「優れた業績」を証明する資料（正本）                                         |    |               |
| ②－２ | 申請書に記載の「優れた業績」を証明する資料（コピー）                                        |    |               |
| ③－１ | 指導教員等の推薦理由（正本） 【様式１－２】<br>※申請時は申請者本人の奨学生番号、学籍番号、氏名、研究科名・専攻名の記入のみ  |    |               |
| ③－２ | 指導教員等の推薦理由（コピー） 【様式１－２】<br>※申請時は申請者本人の奨学生番号、学籍番号、氏名、研究科名・専攻名の記入のみ |    |               |
| ④－１ | 成績証明書（正本） ※現在在籍している課程の証明書                                         |    |               |
| ④－２ | 成績証明書（コピー） ※現在在籍している課程の証明書                                        |    |               |
| ⑤   | 留学報告書（該当者のみ） 正本・コピー                                               |    |               |
| ⑥   | 学位論文（課題研究論文）<br>※法務研究科は不要／経営管理研究科は課題研究論文となります                     |    |               |

\*⑥の学位論文（課題研究論文）の締切のみ、3月15日（金）17:00 となります。

指導教員氏名：

受付印

## 日本学生支援機構奨学金

### 「特に優れた業績による返還免除」 提出受付票【本人控】

日本学生支援機構奨学金「特に優れた業績による返還免除」書類を受け付けました。

学生証番号 .....

氏 名 .....

受付印

備考欄

指導教員氏名：